

# CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ソルティア天王寺舟橋ステーションゲート 新築工事		
建設地	天王寺区舟橋町		
建築用途	共同住宅		
建築主	(株)マリモ		
設計者	楽総合計画(株)、(株)マリモ		
敷地面積	341.47	m <sup>2</sup>	
建築面積	220.04	m <sup>2</sup>	
延床面積	2,514.53	m <sup>2</sup>	
構造/階数	RC造	/	地上15階
完了年(予定)	2027年10月		

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**B-**  
BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 87%  
③上記+②以外の 87%  
④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質**

**Q1 室内環境** (Q1のスコア= 2.9)

音環境	3.9
温熱環境	2.7
光・視環境	2.9
空気質環境	2.7

**Q2 サービス性能** (Q2のスコア= 2.6)

機能性	2.5
耐用性・信頼性	2.8
対応性・更新性	2.6

**Q3 室外環境 (敷地内)** (Q3のスコア= 1.5)

生物環境	1.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	1.5

**LR 環境負荷低減性**

**LR1 エネルギー** (LR1のスコア= 4.4)

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

**LR2 資源・マテリアル** (LR2のスコア= 2.7)

水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	2.8
汚染物質回避	3.0

**LR3 敷地外環境** (LR3のスコア= 3.0)

地球温暖化への配慮	3.5
地域環境への配慮	2.6
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b>	建物の維持管理のしやすさ、長寿命化、省エネルギー性能の確保、地域景観への配慮	特になし。
<b>Q1 室内環境</b>	遮音等級T-1のサッシを採用し、室内環境へ配慮した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地内に来る限り、緑地を設置した。
<b>LR1 エネルギー</b>	LED照明を使用する、エネルギーへ配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車場の確保。
<b>Q2 サービス性能</b>	耐用年数の長い配管材を採用し、建物の長寿命化に配慮している。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	躯体と仕上材が容易に分別可能であり、内装材と設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。	

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.5
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項		

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4を超える(相当)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI <sub>m</sub> ]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ]
	0.78	0.78	-